

2026 年 10 月 26 日

西日本旅客鉄道株式会社

能登復興に向けた取組み ～能登とともに、未来をつくる～

JR 西日本グループでは、令和 6 年能登半島地震・奥能登豪雨からの復旧・復興に向けて、交通の確保、能登への送客、地域産品や現地情報の発信などの取組みを進めてまいりました。復興の先の新たな能登へ、地域の方々とともに更なる取組みを推進してまいります。

【目指す姿 ～人と地域をつなぎ、能登の営みを未来へつなぐ～】

能登は、豊かな自然や食、温泉、祭り、工芸、そしてそこに暮らす人々によって育まれてきた、かけがえのない地域です。震災は、建物や交通だけでなく、人々が暮らし、訪れ、交流する日常にも大きな影響を及ぼしました。私たちが取り戻したいのは、機能だけではなく、人々が集い、文化に触れ、生業が営まれる、能登ならではの風景です。

地域の方々が「めぐる」というテーマをきっかけ、全国各地からのお客様に能登全体に足を運んでいただけるよう、地域の魅力を磨き上げ、回遊性を高めることで、能登半島全体の復興と地域の賑わいづくりに努めておられます。地域の方々とともに、人と地域をつなぎ、未来に向け、多くの方にめぐっていただける取組みを推進してまいります。

当社の役割は、駅と駅をつなぐことにとどまりません。能登の魅力に心が動き、人が訪れ、交流し、また訪れたいくなる。その積み重ねによって、生業と文化が未来へ続く姿を、地域・自治体・企業・能登を想うの方々とともに目指します。

1. 七尾線での新たな観光特急

七尾線における新たな観光特急について、地域の方々とともにプロジェクトを推進してまいります。車両デザインを七尾市和倉町出身のデザイナー・モリモトシンゴ氏（株式会社ボスコ代表）に監修いただくほか、列車の詳細について、和倉温泉観光協会などの地域の方々との共創を進めてまいります。

(1) プロジェクト概要

① 取組み内容

地域との対話を通じて、受け継ぎたい文化や未来への思いを列車に込めます。対話や制作の過程も発信し、震災の記憶と能登の「今」を伝えます。地域の思いで心を動かし、風化を防ぎ、関心と応援をつなぎ続けます。

② 実現したい未来

新たな列車を能登への入口とし、車内での出会いを街の体験へつなぎ、日帰り・宿泊双方の来訪と回遊を促します。運行開始後も、能登に関わり続ける人を増やし、交流と新たな営みが生まれる未来を地域とともにつくります。

(2) 列車概要

① デザイン

- ・「能登かがり火」型車両 3 両 2 編成を改造
- ・3 両編成のうち 1 両を特別車両として設定



※設計前のイメージであり、実際の車両とは異なります

- ② 運行開始：2029 年前半のデビューを目指す（1 編成目）
- ③ 運転区間：金沢駅～和倉温泉駅
- ④ 運転日：平日を含めて毎日運転（2 編成目運行開始後）

※今後、列車名や運行の詳細などが決まりましたら、改めてお知らせいたします。

(3) 観光列車「花嫁のれん」の運行終了

現在運行している七尾線観光列車「花嫁のれん」については、車両の経年のため、2028 年夏頃に運行を終了する予定です。

2. 関西発～和倉温泉着「能登かがり火」型車両による団体臨時列車の運行

現在金沢～和倉温泉間で運行している「能登かがり火」の車両により、関西～和倉温泉間で団体臨時列車を運行します。団体臨時列車に乗車し、能登の魅力を感じていただける旅行商品を発売しますので、復興が進む能登にぜひお越しください！

- (1) 運行区間：大阪駅発～和倉温泉駅着

途中、新大阪駅・京都駅で乗車可

- (2) 運行時期：2027 年春・夏・秋の各シーズン 1 本運行

具体的な運転日は決定次第発表

- (3) 運転時刻：運転日と合わせ、決定次第発表

大阪～和倉温泉まで、概ね 5 時間半程度を予定

- (4) 使用車両：「能登かがり火」型車両 3 両で運行

- (5) 運行形態：旅行会社により能登などを訪問するツアーを設定し、ツアーご参加の方に団体臨時列車にご乗車いただきます

